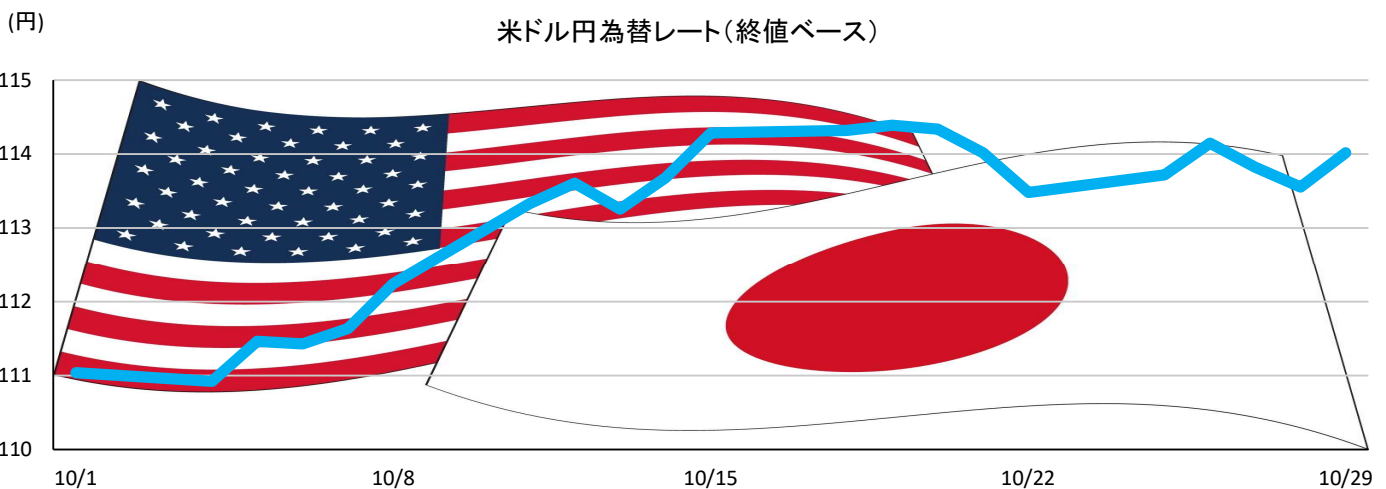


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**10月のドル円相場は110円後半～114円半ばで推移。月初は小幅な値動きだったが、米国の早期利上げ観測が高まってきたことで徐々にドル買いの流れとなり、良好な米国経済指標発表や各地区連銀総裁から早期テーパリングに言及する発言が聞かれたことで、ドル円は114円半ばまで円安ドル高が進行。その後は115円を前に高値警戒感が出ていたことやパウエルFRB議長が早期利上げの思惑を否定する発言などで113円半ばまで売られたが根強いドル買いで114円台を回復。月末には資源国通貨の急落や米GDP速報値が市場予想を下回ったことでリスク回避の動きが強まり、再び113円台前半となる場面も見られたが、ユーロやポンドの急落を受けたドル買いで114円台を回復して10月を終えた。



## EXTRA VISION

**今後の展開：**月初のFOMCが最大の関心事。テーパリング開始が決定される見通しということは市場で織り込み済みのため、さらに踏み込んで利上げ時期について示唆されるかがドル買い継続のポイントだろう。また中国恒大集団の問題も予断を許さない状況。10月末期限だったドル建て債の利払いが実施されたことで債務不履行を回避したが、資金繰りは苦しいとみられ綱渡りは続くと思われる。そのため利払いが行われなかった場合は、金融市場に大きな影響が出てくるのが危惧されており、突発的な値動きに注意を払っておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
11 / 16 (火)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
11 / 24 (水)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
11 / 25 (木)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
12 / 3 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
12 / 10 (金)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
12 / 13 (月)	8 : 50	JP	日銀短観	☆☆☆☆
12 / 16 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。